

平成30年度全国学力・学習状況調査

結果・分析と今後の指導について

帯広市立広野小学校

本調査の結果については、児童生徒が身につけるべき学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であると考えます。また、本校においては、調査を受けた児童が4名という少ない人数であることから、個人的傾向が強く反映されています。そのため、結果をそのまま学校全体の傾向として捉えることは難しいと考えています。

なお、以下の分析については、広野小学校全職員で行った「全国学力・学習状況調査分析会議」の結果をまとめたものとなっています。

□国語

A 問題

【課題】

・目的に応じて必要な情報を捉える

○目的を明確にし、調べる内容を具体的にすることができるようにする。

何のために調べるのかという目的を明確にし、何について調べるのかを具体的にすることで自分が必要とする情報がどこに書かれているのかを捉えることができるようにする。何について調べるのかを具体的にするためには、自分の活動を振り返り課題を見つけたり、目的を焦点化したりすることができるような学習過程の設定が有効。

○図鑑や事典の読み方を身につけることができるようにする。

目次や索引、見出しに注意して読む、キーワードを見つけながら読む、図表と結び付けながら読むなど、必要な情報を得るための方法を身につけることができるようにする。そのためには、調べる学習を積み重ね、その有用感を実感できるようにすることが大切。

○他教科との関連を図り、国語で身につけたことを活用できるようにする。

図鑑や事典から必要な情報を読み取るための方法を他教科の学習に生かすことができる機会を意図的に設定する。その際に課題解決できたか振り返る時間を設け、その有用性を実感できるようにする。

・相手や場面に応じて適切に敬語を使う

○敬語を使う際には相手との関係やその場の状況を意識して、適切に使うことができるようにする。

敬語を適切に使うことができるようにするためには、様々な状況で敬語を使うことになれることが重要。具体的には直接話すほかに案内の手紙を書くなども考えられる。また、自分や身内

にかかわる行動などについては尊敬語を用いることが適切ではないというような公の場における言葉の使い方に対する感覚を養うことも大切。

・漢字の使い方

○文や文章の中で正しく漢字を使う

漢字の指導に当たっては、文脈の中での使い分けや「同じ読み方の漢字」「似た形の漢字」「まちがえやすい漢字」を集めるなどの学習活動をおこなう。

B 問題

【課題】

・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書く

○推薦する理由を明確に伝えるために適切な内容を取り上げて詳しく書く

推薦理由を明確に伝えるためには、事例をあげて具体的に説明することが有効である。事例を挙げて書く際には、自分の考えを具体化したり相手の理解を促したりすることができるかを判断すること、必要な資料を集め、得た情報を適切に関連付けて書くことも大切。また、詳しく書くことでわかりやすくなることも指導する。

※速報の分析にもあった A「主語と述語の関係に注意して、文を正しく書く」、B「相手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」、B「目的や意図に応じ内容の中心を明確にして詳しく書く」についても全国的に得点率が低いことから、本校でも指導の際に注意することが必要。『目的をもって聞く、読む』『自分と比べて考えを書く』という学習活動を意図的に取り入れていくことが大切。

□算数

A 問題

【課題】

・小数の除法の意味について理解している

○計算の意味の理解の指導が大切。

・単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している

○混み具合を調べる際には、単位面積当たりの人数を比べる場合と、単位人数当たりの面積を比べる場合があるのでどちらを単位量として設定しているのかを判断することができるようにすることが大切。

・百分率を求めることができる

○百分率を求めるためには、問題場面から基準量と比較量を正しくとらえ、(比較量) ÷ (基準量) で割合を求めることができるようにすること、及び基準量を 100 としてそれに対する割合で表す方法が百分率であることを理解できるようにすることが大切。

B 問題

【課題】

・メモの情報と棒グラフを組み合わせたグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを言葉や数を用いて記述できる

○グラフの特徴を複数の観点でとらえて情報を読み取ることができるようにする。他者が読み取った情報や観点をグラフと関連付けて解釈できるようにすることが大切。

・棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを適切に判断することができる

○目的に応じてグラフを作り、複数のグラフを関連付けて考察することができるようにする。

※速報でも分析したように、問題の読み込みが必要な場面での得点率が低い。上で取り上げた問題は、全国得点率も低い問題であることから、特に注意して指導するようにする。特に「計算の意味について理解する問題」は各学年での取り組みが必要。角度の問題など「量の感覚をつける」授業も各学年で積極的に行う。

□理科

【課題】

・より妥当な考えをつくりだすために、実験結果をもとに分析して考察し、その内容を記述できる。

○実験結果をもとに分析して考察し、その内容を記述できるようにする。

実験結果をもとに分析して考察し、その内容を記述できるようにするには、観察や実験の結果をもとに「事実」と「解釈」の両方を示しながら、説明できるようにすることが大切。指導に当たっては、自分の予想にとらわれずに事実と解釈の両方を表現することでよりの確な説明になることを捉えられるようにする。また、解釈した内容が問題と正対しているか確認させることも考えられる。

・電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できる。

○実験結果の見通しを伴った解決の方向性を構想できるようにする。

実験結果の見通しを伴った解決の方向性を構想できるようにするためには、自らの予想や仮説をもとに実験計画を立案し、実験を行うまえに予想が確かめられた場合に得られる実験結果を見通すことが大切。

※回答の傾向から、学習によって得た知識をもとに答えており、問題に当てはめて考えることができていなかったと考えられる。

◇児童質問紙

(1) 高い数値だった項目（肯定的回答 100%の項目）

- 自分には、よいところがある。 ○先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- 将来の夢や希望を持っている。 ○学校のきまりを守っている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- 朝食を毎日食べている。 ○家で学校の宿題をしている。
- 家での自学自習において、教科書を使いながら学習している。
- 5年生まで、地域のことを調べたり地域の人と関わったりする機会があったと思う。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり一緒に遊んだりすることがある。
- テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る。
- 算数の勉強は大切だと思う。
- 算数の授業で学習したことを普段の生活で活用できないか考える。
- 算数の授業で学習したことは将来役に立つ。
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- 理科の勉強が好きだ。 ○理科の勉強は大切だと思う。
- 理科の授業の内容はよく分かる。
- 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある。
- 理科の授業で学習したことを普段の生活で活用できないか考える。
- 理科の授業で学習したことは将来役に立つ。
- 観察や実験を行うことは好きだ。
- 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考える。
- 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返っている。
- 5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思った。
- 5年生のとき、理科の授業を受けた後に習ったことに関わることでもっと知りたいことができた。
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいた。
- 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができた。
- 調査問題の解答時間は十分だった。「国語 B」「算数 A」「理科」

(2) 課題がみられる項目（否定的回答 25%以上の項目）

- 人の役に立つ人間になりたいと思っている。
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 ●毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている。 ●家で、学校の授業の予習・復習をしている。
- 家の人と学校での出来事について話をしている。 ●新聞を読んでいる。
- 地域や社会の出来事に関心がある。

- 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。
- 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。
- 算数の勉強が好き。
- 算数の授業の内容はよく分かる。
- 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う。
- 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える。
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。
- 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい。
- 理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている。
- 今、社会のことがらや自然のことがらに「不思議」「おもしろい」などと思う。
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- 調査問題の解答時間は十分だった。「国語 A」「算数 B」

□今後の指導

- 授業の際には、今回の分析結果を意図的に学習活動に取り入れる。
- 広野っ子学びチャレンジで扱うプリントに、課題となる問題を準備する。また、児童に積極的に取り組むような声掛けを行う。
- 充実タイムでは、漢字の使い方や計算の意味を問う問題などの学習も積極的に取り入れる。
- 語彙力を高めるために国語辞典を積極的に使う。
- 図鑑や事典を使った学習など他教科との関連を図った指導を行う。
- グラフの読み取りの学習など他教科との関連を図った指導を行う。
- 結果の見通しを持ち、回答した内容が問題と正対しているか確認させる学習活動を積極的に取り入れる。
- 基礎学力の向上に向け、全教職員、家庭が一体となり、子どもが意欲的に取り組む家庭学習の姿を構築する。